

イコール・ペイ・デイは、
賃金格差を「見える化」する運動です。

男女ともに働き始め、男性が1年で手にする額を女性が1年を超えて働いて手にする日 = それがいコール・ペイ・デイです。

2021年のイコール・ペイ・デイ (EPD) は **5月6日**

2020年の男女の賃金格差は 74.4%

女性は 4か月と6日余計に働かないと同額を手にすることができないのです。

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

主要国の EPD

日本	5月6日		
アメリカ	3月24日	スイス	3月16日
イギリス	4月1日	ドイツ	4月7日
イタリア	1月22日	フランス	3月8日



あなたに
知ってほしい
イコール・ペイ・デイ

それは・・・

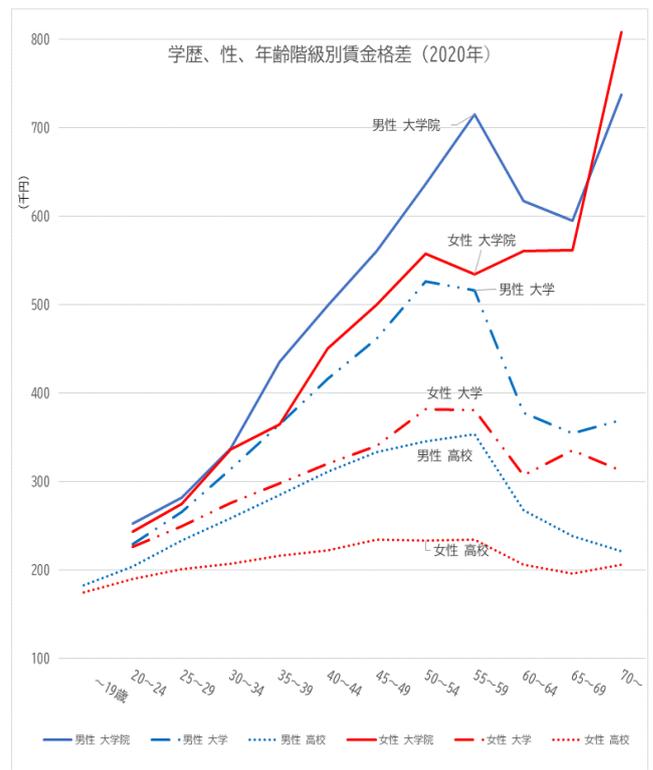


ご存じでしたか？・・・賃金の男女格差の姿です
格差は学歴・年齢でさらに拡大します。
大卒女子と高卒男子の差は僅か。。



イラスト:mine 工房 落合みね子
協賛 :JWLI Association

認定 NPO 法人日本BPW連合会
東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館 303
TEL:03-5304-7874 FAX:03-5304-7876
Email office@bpw-japan.jp
<http://www.bpw-japan.jp/>



equal pay day.



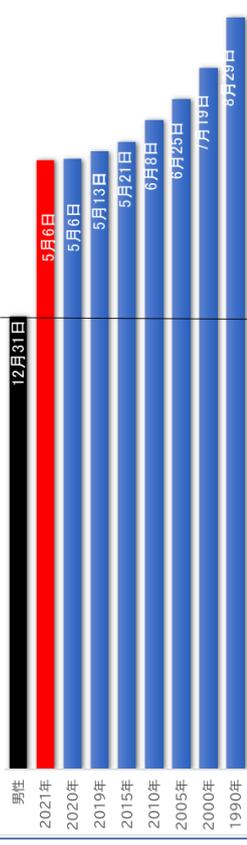
認定NPO法人日本BPW連合会

2021年 イコール・ペイ・デイ (EPD)

5月6日

男性が1年間で得る賃金を、女性は1年を超えて働いてようやく同額となる日がイコール・ペイ・デイ（＝同じ賃金を手にする日）です

EPD推移



性別別賃金の推移（令和2年(2020)賃金構造基本統計調査（全国）雇員の概況より）とイコール・ペイ・デイ

EPD * 黄色のマークは閏年	調査年 (前年)	男女計 賃金 (千円)		男性 賃金A (千円)	女性 賃金B (千円)	賃金格差 (%) 女性賃金/男性賃金	格差分の日数C (男性の年収 /女性の年収 -365日)
		男性	女性				
男性 12月31日							0
2021年 5月6日	2020年	307.7	338.8	338.8	251.9	74.35	125.92日
2020年 5月6日*	2019年	307.7	338.0	338.0	251.0	74.26	126.51日
2019年 5月13日	2018年	306.2	337.6	337.6	247.5	73.31	132.87日
2018年 5月21日	2017年	299.6	329.6	329.6	238.0	72.21	140.48日
2017年 6月8日	2016年	294.5	326.8	326.8	228.0	69.77	158.17日
2016年 6月25日	2015年	301.6	333.9	333.9	225.6	67.57	175.22日
2015年 7月19日*	2014年	300.6	336.7	336.7	217.5	64.60	200.04日
2014年 8月29日	1999年	241.8	276.1	276.1	166.3	60.23	240.99日

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の「所定内給与額の推移」から、一般労働者（非労働者のうち短時間労働者を除いたもの）のデータを使用。

【Newイコール・ペイ・デイ算出方法】

1) 格差分の日数を算出

男性の年収を得るのに女性の賃金では1年を超えて何日かかるか計算

男性の年収(賃金A × 12カ月) ÷ 女性の年収(賃金B × 12/365) - 365日 = 1年を超えた格差分の日数C

2) 暦日付を算出

格差分の日数から暦日を算出、小数点以下は切上（* 閏年は2月を29日計算）

格差分の日数C-1月(31日)-2月(28日)*-3月(31日)-4月(30日)...

【計算方式変更】

2018年まで、男女の賃金格差の比率から算出していましたが、それでは男性賃金がベースになるため、2019年から賃金の差額を得るために実際に女性が何日余分に働く必要があるか、女性の賃金の日割りでの割り出す方式に変更。

例：男性年収400万円、女性年収300万円の場合、25%の格差と100万円の差

従来方式：1年の25%（1/4）働く必要がある、つまり3月末

新方式：年収300万の女性が不足の100万円を稼ぐには、1年の1/3働く必要がある、つまり4月末

資料：令和2年賃金構造基本統計調査（全国）結果の概況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/roudou/chingin/kouzou/z2020/dl/13.pdf>

